

2020 年 4 月 21 日

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する情報の共有とお願い

日本がんサポートィブケア学会
理事長 田村和夫

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の広がりにあたり、一般市民はもちろんのことがん患者・家族の方々も大きな不安を持ちながら毎日を過ごしています。医師をはじめとする医療従事者も COVID-19 に伴う医療体制の変化に対応しながらがん患者のケアに当たっています。なかでも COVID-19 患者受け入れ施設では、現実問題としてがんの診療に支障が来ていることが日本がんサポートィブケア学会（JASCC）会員より報告されております。また、種々の情報が厚生労働省、欧米の学会あるいは大学の専門家チームから出されておりますので、JASCC の理事を中心にこれらを整理し会員のみなさまに提供いたします。また、有用な情報源を最後にリストしてまとめてありますのでご活用ください。

ウイルスならびに感染症の名称

新型コロナウイルス：2019-nCoV

新型コロナウイルス感染症：coronavirus infectious disease-19、COVID-19

（本情報ではコロナウイルス、コロナ感染症と略して使用している部分があります）

JASCC 会員自身またご家族を守るためにも、病院によっては医療資源が十分でないところも出てきていますが、できる限り通勤・勤務中の感染予防対策を厳守するとともに、休息を十分取り、不要不急の外出を控えられることをお願いいたします。

みなさんで Stay at home. Stay safe. お願いします。

1. 外科領域の現状と対策

外科治療においては、日本外科学会(<http://www.jssoc.or.jp/>)や American College of Surgeons(ACS)(<https://www.facs.org/>)からは、待機的手術のトリアージ指針

(下図参照)が発信されており、特定機能病院や地域医療支援病院など比較的大きな病院ではその機能を確保しつつ COVID-19 に対応することに努めています。しかしながら、様々な要因で手術制限をせざるを得ない状況に陥っている施設も少なからず存在します。その場合各病院の COVID-19 対応状況、患者の状況を考慮する必要があります。トリアージによって手術制限が加わっている理由は、院内感染の拡大などで医療の供給が継続可能な状況ではなくなり医療崩壊が起こったケースを除けば、以下の4つが挙げられます。

1) 患者を術後の重篤な合併症から守る；明らかな新型コロナ肺炎を患うと、緊急手術以外は手術の適応ではないことがほとんどですが、無症候性でありながら感染している患者の術後経過が不良であることが報告されています(Ann Surg 誌 2020)。現在、無症候性の場合、前述のごとく PCR 検査が勧められていないため、問診と直前 CT 画像などで肺炎の有無を確認する努力がなされています。

2) 人工呼吸器確保における競合；新型コロナ肺炎の重症例を治療している病院においては、人工呼吸器を新型コロナ肺炎治療に適用する必要があります。そのため、術後 ICU に入る可能性が高い手術は人工呼吸器が必要になると新型コロナ肺炎重症例と競合するのです。

3) 医療者の感染を防ぎ、医療崩壊を回避する；無症候性で、後にウイルス陽性と判明する患者は、院内感染を起こす源となり、その病院の機能不全を招き、医療崩壊につながる懸念から問題になっています。特に頭頸部、呼吸器の手術は、挿管時や手術操作でエアロゾルが手術室を汚染する可能性があることを勘案し、多くの病院で N95 マスクと PPE (personal protective equipment) をもって完全装備の中で行う必要があると共通の理解が得られています。そのため、どの領域であっても緊急性の低い手術はもとより、この領域の手術で待機が可能なものが制限の第一選択の対象とされています。麻酔医、看護師、外科医の予期せぬ暴露を回避するためです。

4) N95 マスクなどの供給状況に依存；現時点では、症状から感染が疑わしい人にものみ PCR 検査が施行され、検査の対応能力からも保険適応からも、また感度や特異度の点からも陽性者・陰性者をきちんと判別できるものではないという観点からも、無症候性で手術適応のある患者には PCR 検査がされておりません。即ち感染の有無がわからずに手術を実施しておりますが、院内感染予防の観点から、全てを陽性と考えて行うとする立場をとれば、全手術に N95 マスクと PPE を準

備することになり、これらの防護装備の需要と供給バランスを図るためというのが最後の理由です。

下記 PDF に記載されている表は、日本外科学会ウェブサイトに掲載されている米国外科学会（ACS）が推奨するセントルイス大学の Elective Surgery Acuity Scale（ESAS）をベースにした手術トリアージの目安を示しています（日本外科学会の許可を得て 4 月 14 日に改訂されたものを掲載）。



info20200414.pdf

新型コロナウイルス感染症蔓延期における外科手術トリアージの目安（改訂版ver2.4、2020.4.14）

医療供給体制 ¹			安定時		ひっ迫時	
対象患者の新型コロナウイルス感染の有無 ²			陰性 ⁴	陽性・疑い	陰性 ⁴	陽性・疑い
疾病レベル ³	A	致命的でない、または急を要しない疾患	適切な感染予防策を講じたうえで慎重に実施	延期	延期	延期
	B	致命的でないが潜在的には生命を脅かす、または重症化する危険性がある疾患	適切な感染予防策を講じたうえで慎重に実施	可能であれば延期し、やむを得ない場合のみ十分な感染予防策を講じたうえで慎重に実施	可能であれば延期	延期
	C	数日から数ヶ月以内に手術しないと致命的となり得る疾患	適切な感染予防策を講じたうえで慎重に実施	代替治療を考慮し、やむを得ない場合のみ十分な感染予防策を講じたうえで慎重に実施	代替治療を考慮し、やむを得ない場合のみ適切な感染予防策を講じたうえで慎重に実施	代替治療を考慮し、やむを得ない場合のみ十分な感染予防策を講じたうえで慎重に実施

¹当該地域・医療機関における病床数、医療スタッフ、個人防護具(PPE)、新型コロナウイルス感染患者の受け入れの有無、緊急事態宣言の有無、地域における感染拡大の程度などの様々な要因をふまえ総合的に判断する。

²新型コロナウイルス核酸検出法（PCR）による診断が望ましいが検査できない場合は、過去 2 週間程度の症状や海外渡航歴・移動歴・濃厚接触の有無（本人及び同居者）、必要であれば胸部CT所見などをふまえ総合的に判断する。

³疾病の重篤度、緊急度、必要性、患者の容態などを総合的に考慮し、主治医を中心とした医療チームで協議して判断する。患者状態によっては繰り返しの疾病レベル判定が必要な場合がある。

⁴不顕性患者も多く、またPCR検査でも一定程度の偽陰性があるため確定診断は容易ではないことを認識し、院内マニュアルに従って適切な感染予防策を講じる。

2. 内科領域の現状と対策

間もなく日本臨床腫瘍学会、日本癌治療学会、日本癌学会の 3 学会協働のもと、現下のコロナウイルス感染症蔓延下におけるがん診療の指針が示される予定です。それを参考にがん診療にあたるように致しましょう。

ここではそれまでの間、主にかん薬物療法施行に際しての留意事項の確認にご利用ください。

1) 治療前評価

新型コロナウイルス感染リスクとして注意すべきは、以下のような症例です。

- ・高齢者(ここでは 60 歳以上)で心臓病、糖尿病、肺疾患、高血圧などの合併症を有する症例
- ・慢性関節リウマチなどの膠原病で、免疫機能に障害がある症例
- ・過去 1 ヶ月以内に手術を受けた症例
- ・既往歴として他疾患のために幹細胞移植または CAR-T 細胞療法を受けて 1 年以内の症例

2) 治療

- ・薬物療法、放射線療法は、リスクとベネフィットを考慮の上、実施の有無を患者さんと相談の上決定しましょう。
- ・術後補助療法は、リスクとベネフィットを考慮の上、延期、中止、実施を決定しましょう。
- ・放射線化学療法もリスクとベネフィットを考慮の上、患者さんと相談の上決定しましょう。治癒を目指す場合には、必要な処置を講じつつ極力実施を考慮いたしましょう。
- ・リスクとベネフィットを考慮し、点滴治療のための来院頻度は、休業期間を延長するなどして減らすことも考慮しましょう。
- ・点滴治療を内服治療へ変更可能か否かも考慮しましょう。

3) 支持・緩和医療

2) で記述したように、担当医はがん治療遅延によって患者に不利益が極力およばないように、今後の治療方針について患者・家族と話し合う必要があります。また、不安が強くなったり 2 週間以上不眠を訴えてうつ状態になる患者は専門の精神科・心療内科の医師の受診を紹介しましょう。患者が新型コロナウイルス感染症のことで不安になったり、憂鬱になったりするのとは当然のことと思います。

医療者からのひとまずの提案は（UpToDate：covid-19 概要 を改変）下記の通りです。

- ニュース番組を見ない時間を取りましょう。
1日1回または2回、決まった時間にだけ、更新された情報を追うようにしてください。
- 定期的に運動して栄養バランスのとれた食事を心がけましょう。
- 家の中で楽しんでできることを探しましょう。
- 友達や家族と連絡をとりあいましょう（スマートフォンであれば画像をみながらのチャットは簡単）
- もしコロナウイルスに感染してもほとんどの人は軽症ですむことを忘れないでおきましょう。

もちろん、不安が強かったり、パニックに陥ったり、うつ状態となっていると判断されれば精神科専門医に相談すべきです。

社会的スティグマの防止も我々の務めと考えます。最近のマスコミ報道を見ていると、COVID-19 患者がしきりに謝罪しているのが気になります。その人は間違ったことをしたわけではありません。犯罪でもなく人間性が否定されるようなことをしたものでもありません。彼らは支援、思いやり、優しさを受ける権利があるはずです。病気に関する事実を正確な情報をシェアしましょう。（WHO：COVID-19 に関する社会的スティグマの防止と対応のガイド 2020/2/24 参照してください。Do & Don't は参考になります）

支持・緩和医療では、患者さんを直接に対面することなしに、通常の診療ができることが多いです。すなわち、**遠隔診療**で十分の場合が多いと思われます。もうすでに政府は遠隔診療を初診でも行って良い、遠隔診療の研修を行っていなくても可能との見解を出しています。各施設は、早急にシステムを立ち上げるべきでしょう

（厚生労働省第9回オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会 資料）。また緩和ケア病棟では、その施設で用意できる厳重な感染予防策をとることが求められていることから、家族の付き添いはおろか面談も制限されています。これはとても悲しいことで、一刻も早くスマートフォンなどのテレビ電話機能やウェブ会議の機能を患者家族が使えるように指導説明することが求められま

す。当然家族と医療者のコミュニケーションも同様な機能を用いて行えばよりよいコミュニケーションがとれると考えられます。

我々**医療者自身のメンタルヘルス**にも注意を払うべきです。体調管理に気をつけましょう。十分な休息休憩、十分に健康的な食事、体を動かす、家族や友人と連絡をとりあうなど対処を試みましょう。過去にストレスを受けたときに使ったストラテジーを使ってみましょう。自分自身を心理的に良好な状態に保つことに躊躇することはありません。不眠や集中力低下、仕事へのモチベーションが上がらない、達成感が得られない、無力感など燃えつき兆候が出たら遠慮なくメンタルサポートを受けましょう。コロナとの戦いは長期戦となりそうです。医療者が心身ともに良好な状態を保つことは何より大切です。（WHO2020/3/18; Mental Health Considerations during COVID-19 Outbreak より）

4) 付帯項目

- ・ 高血圧症、糖尿病など併存症の治療薬は、30 日分は予備として確保しておきましょう。
- ・ 経口抗がん薬も、状況に応じて予備を処方することを考慮しましょう。
- ・ 鎮痛薬などの支持療法薬も予備として確保することも考慮しましょう。

3. 放射線療法の現状と対策

わが国の放射線治療への対策は日本放射線腫瘍学会（JASTRO）で検討中です。状況が逼迫している欧米では米国放射線腫瘍学会（ASTRO）から、エビデンスに基づきできるだけ短期の放射線治療、例えば有痛性骨転移に対する 1 回照射、乳癌、前立腺癌に対する寡分割照射、が推奨されています。

4. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連する情報

日本がんサポーターブケア学会では当学会会員はもちろんのこと、がん診療に関わる医療従事者、がん患者・ご家族の方向けに信頼できる情報を収集し紹介しています。国内外から発信される内容は日々更新されています。参考にさせていただければ幸いです。

下記リストは、がん患者さん向けのものを含めまして国内外の公的機関、がんや感染症に関する学会などの情報をまとめたものです。リンクされた情報について、情報源の信頼性や対象とする地域/国、セキュリティーポリシーやプライバシーポリシーはそれぞれのリンク先のルールに沿ってご利用ください。

1. 国内の公的機関における情報
2. 国内の学会・団体における情報
3. 海外の公的機関・学会における情報（英語）
4. 文献情報（英語）

1. 国内の公的機関における情報

新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルス感染症対策（内閣官房）

<https://corona.go.jp/>

新型コロナウイルスに関する Q&A（一般の方向け）（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

新型コロナウイルスに関する Q&A（医療機関・検査機関の方向け）（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00004.html

がん患者や家族、周りの人へ（国立がん研究センターがん情報サービス）

<https://ganjoho.jp/public/news/2020/20200410.html>

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について（国立国際医療研究センター）

<http://www.ncgm.go.jp/covid19.html>

高齢者のための新型コロナウイルス感染症ハンドブック（国立長寿医療研究センター）

<https://www.ncgg.go.jp/hospital/news/20200319.html>

妊婦さんの新型コロナウイルス感染症について（国立成育医療研究センター）

https://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/perinatal/bosei/covid_bosei_kusuri.html

新型コロナウイルスと子どものストレスについて（国立成育医療研究センター）

<https://www.ncchd.go.jp/news/2020/20200410.html>

2.国内の学会・団体における情報

新型コロナウイルス感染症 関連情報（JSMO：日本臨床腫瘍学会）

<https://www.jsmo.or.jp/news/coronavirus-information/>

COVID-19 関連特別ワーキンググループ（JSPM：日本緩和医療学会）

<https://www.jspm-covid19.com/?p=1>

新型コロナウイルス関連情報特設サイト（日本公衆衛生学会）

<https://www.jsph.jp/covid/index.html>

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応について（日本環境感染学会）

http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=328

新型コロナウイルス感染症（日本感染症学会）

http://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=31

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療所・病院におけるプライマリ・ケアのための情報サイト（日本プライマリ・ケア連合学会）

<https://www.pc-covid19.jp/>

新型コロナウイルス関連情報（日本小児科学会）

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=333

患者さん・ご家族へのメッセージ（日本緩和医療薬学会）

<http://jpps.umin.jp/jppscomment.html>

感染症流行期にこころの健康を保つために（日本赤十字社）

http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200327_006138.html

コロナウイルス（COVID-19）リソース（コクラン）

<https://www.cochrane.org/ja/evidence>

3.海外の公的機関・学会における情報（英語）

ASCO Coronavirus Resources（ASCO：米国臨床腫瘍学会）

<https://www.asco.org/asco-coronavirus-information>

ESCO COVID-19 and Cancer（ESMO：欧州腫瘍学会）

<https://www.esmo.org/covid-19-and-cancer>

ASC COVID-19: Guidance for Triage of Non-Emergent Surgical Procedures (ASC : 米国外科学会)

<https://www.facs.org/covid-19/clinical-guidance/triage>

MASCC (Multi Association of Supportive Care in Cancer) Information Sources Related to Coronavirus, COVID-19

<https://www.mascc.org/covid-19-resources>

ASTRO COVID-19 Recommendations to Radiation Oncology Practices (ASTRO : 米国放射線腫瘍学会)

<https://www.astro.org/Daily-Practice/COVID-19-Recommendations-and-Information>

ONS Information Regarding the Coronavirus (COVID-19) (ONS : がん看護学会)

<https://www.ons.org/coronavirus>

WHO Coronavirus disease (COVID-19) Pandemic (WHO : 世界保健機関)

<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019>

CDC Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) (CDC : 米国疾病予防管理センター)

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-nCoV/index.html>

[NCI Coronavirus: What People with Cancer Should Know \(米国がん研究所による患者向け情報\)](#)

<https://www.cancer.gov/contact/emergency-preparedness/coronavirus>

[Cancer.Net Coronavirus and COVID-19: What People With Cancer Need to Know \(米国臨床腫瘍学会による患者向け情報\)](#)

<https://www.cancer.net/blog/2020-04/coronavirus-and-covid-19-what-people-with-cancer-need-know>

Coronavirus and cancer – latest updates (英国：キャンサーリサーチ UK によるコロナ対策情報)

<https://scienceblog.cancerresearchuk.org/2020/03/19/coronavirus-and-cancer-latest-updates/>

4.文献情報（英語）

Coronavirus (Covid-19) (NEJM：ニューイングランド医学雑誌)

<https://www.nejm.org/coronavirus>

Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) (JAMA：米国医師会雑誌)

<https://jamanetwork.com/journals/jama/pages/coronavirus-alert>

BMJ's Coronavirus (covid-19) Hub (BMJ：英国医学雑誌)

<https://www.bmj.com/coronavirus>

COVID-19 Resource Centre (Lancet：ランセット誌)

<https://www.thelancet.com/coronavirus>

Elsevier Novel Coronavirus Information Center (Elsevier：エルゼビア)

<https://www.elsevier.com/connect/coronavirus-information-center>

Springer Nature (SARS-CoV-2 and COVID-19) (Springer Nature：シュプリンガー・ネイチャー)

<https://www.springernature.com/gp/researchers/campaigns/coronavirus>

SAGE Coronavirus (COVID-19) Research (SAGE：サージ)

<https://journals.sagepub.com/coronavirus>